

海難季報



令和7年冬号



釜蓋瀬灯標

船舶事故発生状況

	令和6年	令和7年
12月1日現在	7隻	23隻
年間	8隻	—

昨年に比べ、船舶事故数が
3倍以上に増加している。
この内、漁船は14隻（約6割）
を占めている。

最新の気象・海象情報を早期に入手していますか？

冬季に入り、海上の気象・海象条件が厳しさを増す時期となりました。最新の気象情報の早期入手や、発航前の船体・設備等の点検の実施、無理な運航を避けるなど、安全運航の徹底をお願いします。



海の安全情報

救命胴衣を着用していますか？

冬の海は波が高くなるのに加え海水温度が低いため、海中転落した場合、低体温症等で生存率が他の季節と比べ極めて低くなります。遊漁・操業中の「ライフジャケット着用」はもちろんのこと、自己救命策として、「防水パック入り携帯電話等の連絡手段の確保」、「海上保安庁の緊急連絡先118番の活用」など、自分の命を守るためにも心がけましょう。



TOPICS

夜間に無灯火で航行すると、ほかの船舶と衝突する恐れがあるため、大変危険です。

灯火を点けることはもちろん、航行中はレーダー及び目視での「常時適切な見張りの徹底」をお願いします。

夜間の無灯火危険です！

～あなたの命と仲間を守るために～

無灯火船は
「見えない障害物」です！

夜間の海ではレーダーや目視でも小型船の発見は困難！

灯火がない船舶は他船にとって「存在しない」と同じです！！

常に気付いてもらわなければ衝突する可能性「大」！！

一度の衝突で船体損傷だけでなく命を失う、失せてしまう危険があります。

海上衝突予防法では、日没から日出までの間法に定められた灯火を表示しなければなりません

海の事件事故は118番
対馬地域海難防止協調活動推進会議
事務局：対馬海上保安部交通課
TEL：0920-52-0643



対馬海上保安部・比田勝海上保安署

